

神拝校区タウンミーティング開催報告

日 時	令和2年12月17日（木） 19：00～20：30
場 所	神拝公民館2階ホール
参加者	【地域側：11名】神拝校区連合自治会（2名）、婦人会長、神拝保育園長、神拝民生児童委員会 長 兼 社会福祉協議会神拝支部長、神拝地区青少年健全育成協議会長、神拝小学校PTA副会長、 西条北中学校PTA会長、防犯協会神拝支部長、神友会 会長、神拝地区人権教育をすすめる会副 会長 【行政側：4名】市長、神拝公民館長、政策企画課長、公共施設マネジメント推進係長
次 第	1.開会 2.神拝校区連合自治会長 挨拶 3.市長挨拶・総合計画のポイントと事業説明（別添資料①） 4.テーマ「公共施設のあり方」に関する現状等説明（別添資料②）・意見交換 5.まとめ・閉会

概 要

自治会長 挨拶	昨年、令和元年度のタウンミーティングは印象深く、神拝校区が一つになったと感じた。 この会で西条市が抱える課題を地域の皆さんと市が共有し、共に考え話し合うことで、より 魅力的で住みやすい愛着の持てるまちづくりに繋がるだろう。 この先10年・20年後の神拝校区を想って、ざっくばらんなご意見をいただきたい。
市長 事業説明	<ul style="list-style-type: none"> ・西条市は今後30年間で約3万人の人口減少が予測されている。 （約108,000人：2015年実績 → 約78,000人：2045年時点の人口推計値） ・上記3万人の内、多くが15歳～64歳→働く世代がいなくなることで、地域や産業の課題増が予 想される。 ・「人口減少・少子高齢化への対応」を最重要課題とした総合計画後期基本計画を策定。2045 年時点の人口推計値 約85,000人を目指す！ ・優先目標を3つ設定。A)健康寿命の延伸、B)働きがいの創出・経済活力の維持、C)経営感覚の ある行財政運営の実践。 ・市民・事業者の皆さん、行政がともに力を合わせて、将来世代にバトンタッチできる「持続 可能な西条市」を実現しよう。
テーマに 関する 現状等	<ul style="list-style-type: none"> ・西条市の公共施設は、同規模自治体の1.6倍(延床面積)あり、その半分以上が老朽化(築30年超) している。 ・公共施設マネジメントとは、施設の安全管理と財源確保を両立するための適正配置を実現す ることである。 ・人口減少・少子高齢化を踏まえ、今後の行政サービスにおいて、削減余地があるのは公共施 設のみである。 ・建物は縮減しても機能やサービスの向上を図る「縮充」の発想で施設のあり方を見直すこと が大切である。 ・市民のみなさんと情報を共有し、思いを共感し、新しい公共施設のかたちを考える共創を目 指していきたい。

参加者の発言要旨

市の発言要旨

<p><西条児童館・こどもの国の再編について></p> <p>4つの市町が合併したのだから、他市と比較して施設面積が1.5倍以上になっても不思議はない。</p> <p>今回、4つの施設（西条児童館・こどもの国・産業情報支援センター・市民活動支援センター）を2つに集約化・複合化する計画は大いに賛成である。</p> <p>共存共栄で運営していくスタイルに切り替えないと縮充という大きな目的は達成できないだろう。関係者や周辺住民、保護者、運営する皆さん等の意見を十分聴いて効率良く行ってほしい。</p> <p>また、この整備計画は公共施設再編における最初の計画であるため、今後の計画にも影響が出てくる。40年後の西条市を担うのは、今日この場にいる人ではないだろう。だからこそ、しっかりと計画を組み、丁寧に進めてほしい。</p>	<p>こどもの国の児童機能を西条児童館に移すことに関しては、西条小学校区外になるため、子ども達単独では遊びに行けないことが地域の方からの声やパブリックコメントにおいて言及されていた。そこで、児童館に行けば良いというだけでなく、屋外児童遊園を残しておくことや、キッズスペースのようなものを設置できないか検討したい。</p> <p>また、地域の方と共に運営するという点では、プラネタリウムなど市民も施設の担い手になれるような新しい形にチャレンジをしていきたい。</p> <p>産業情報支援センターと市民活動支援センターを複合化し、さらに移住支援や関係人口を増加させる機能も加え、様々な面で市民のチャレンジを応援する施設にしていきたい。</p> <p>単にハード面の整備だけでなく、ソフト面でも充実を図れるよう、ベースは市民の皆さんの立場、目線で対応していく。</p>
---	---

参加者の発言要旨	市の発言要旨
<p><プラネタリウムの存続について> こどもの国のプラネタリウムは、何らかの形で残してほしい。自分も興味があり、時々行っていた。こうした施設は学校教育だけでは難しい情操教育を子ども達に提供できる場であると思う。</p>	<p>今ある設備が使用可能なことから残す予定である。更に、プラネタリウムに対する情熱を持った方に担っていただけたら、その思いが子ども達にも伝わり、よりよい施設になっていくのではないかと考えている。</p>
<p><公共施設マネジメントについて> 40年かけて公共施設の延床面積を20%削減する点は、スピード感を持って取り組んでいただきたい。また、公共施設の現状で、このままでは更新費用が年間58億円、保有率を20%削減すれば現在と同じ35億円だという説明があった。市の歳入は今後減っていくと思うので、35億円という金額が同じ負担割合であるとは限らない。今以上の負担が生じ、今後年数が経つほどに多くの施設削減が必要になってくるのではないかと思う。</p>	<p>おっしゃるとおりで、現在の保有率20%削減は最低ラインだと認識していただきたい。</p>
<p><公共施設の縮充について> 合併後、重複する施設があるので見直してはどうか。 例えば、東予総合支所は建物が大きく、空間が広いように感じるので、縮小しても良い。公民館にしても、どこか一つ減らしたとしても、他と共有できる部分があるのではないか。 次世代に大きな負担を残さないようにすることを根本に考えたい。公民館で冷暖房を使わせてもらっているが、その使用料なども考えても良いと思う。</p>	<p>合併当時、将来的には本庁方式にしようとしていたが、未だに総合支所方式である。現在、支所のあり方検討会を立ち上げ、3つの総合支所をどうしていくか議論をしている。窓口を含めて市民サービスが効率良く提供できるように、縮充の発想を持って考えていく。今年度中にはその案をお示しして、皆さんのお声を聴いていきたい。 今後、ご負担を強いる場面や反対の意見もあると思うが、地域を守っていくためにこの時期に覚悟を持って進めたいと考えている。</p>
<p>西条北中の体育館が建て替えられたが、せっかくなら冷暖房も完備してほしい。 今後、公共施設を縮充するにあたり、建て替え等の場合、なぜこうしなかったのかと後から言われないうように、当初から場所や設備のことも考えてもらいたい。</p>	<p>西条北中の体育館は立派なものできたが、予算のこともあり、冷暖房設備を設置できていない。 市内体育施設においては、災害時の避難所となることを考慮した結果、後付けになるが、冷風機を備えることとした。 公共施設の整備については、私達市民の安全につながることで、場所や駐車場の出入り口、動線等に配慮しながら対応していきたい。</p>
<p><公共施設の「複合化」について> 公共施設を複合化する考え方は、15年ほど前に既に提案され、都市部では実際に計画が進んでおり、今回の提案は遅すぎたのかなと感じる。 また、神拝小学校の建て替え時にも、将来児童数が減っていくにも関わらず4階建てとなった。空きスペースには後々、児童保育や公民館、地域の集会所のような機能が入っても良いという意見があったと記憶している。</p>	<p>建築の現場からいうと西条市の取り組みは遅いのかもかもしれない。しかしながら、このまま見過ごすわけにもいかない。 フューチャーデザインということで、25年後の姿を見据えて、どんな西条市が良いかを今の子ども達や学生から聴くことも大切である。そして、「あれもこれも」から「あれかこれか」へ事業を選別し、地域の生き残りを懸けていく。しかしながら、縮こまりすぎることのないよう、子ども達が夢や希望を持てるように働きかける。これは我々大人の役割じゃないか思っている。</p>
<p>神拝はどこへ行くにもほどよい距離で、恵まれている。 駐車場の観点からは、校区内にある総合文化会館より丹原文化会館の方が使いやすい。最近では、中央公民館を使うことが多く、交流の輪が広がっている。少々不便でも、みんなが集まることで新しい出会いがあつて良い。 青少年健全育成協議会では、お年寄り子ども達と一緒に活動するが、普段の生活においてお年寄りと接する機会が少ないせいか、町中で挨拶すると驚かれることがある。そのため、小学校と公民館の複合化の事例は嬉しく思った。行政には、社会教育・学校教育等の縦割りを超えてもらいたい。</p>	<p>縦割り行政の例では、放課後児童クラブ（厚生労働省）と学校（文部科学省）の関係がある。以前はそこに障壁があって、児童クラブを学校内には設置できなかったが、今では放課後児童クラブの実施場所を学校施設の中に移しても良いとしている。 施設の複合化においては、縦割りの壁にぶつかる場面も出てくると思うが、積極的に対応していきたい。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨
<p><公共施設の「集約化」「複合化」について> 近年、社会保障費が増加しているが、後世に大きな負担を残したくない。 そこで、行政に思い切って決断してもらいたい。全市的な施設で重複するものは複合化・集約化し、老朽化してどうしようもない施設は撤去していく。その後の土地の活用は、民間に提供、貸与をして公民連携をするのが良い。</p>	<p>痛みを伴うことを先送りしたくなりがちだが、そうではなく、チャレンジしていく。そして、市民の皆様への丁寧な説明をする。 指定管理を含めて、公民連携の形を進めていきたい。</p>
<p><子どもの遊び場所について> 親としては、安心して子ども達だけで遊ばせる場所が少ないと感じている。プールもそうだが、遠くに行かないと遊べないので、誰かが連れていかなくてはならない。結局、家の中か、帰宅後また学校に行き行って遊ぶことになっている。 広場があれば遊び場になるので、ハコモノの観点だけでなく、少しの工夫で身近に遊べる場所を増やすことができるという意見も参考にさせていただきたい。</p>	<p>身近な公共空間をちょっとした工夫で遊び場にすることができるのご意見は大事だと思う。 校庭の活用方法についても今後考えていくが、例えば、学校と公民館の複合化が進めば、多世代が利用し、知り合うことで、地域の人の見守る目も加わる効果が期待できる。 また、神拝校区にあるアクアトピア水系周辺に、今よりもっと賑わいを創出し、子ども達も遊べるような場所にできないものかと考えている。</p>
<p><プールの運営について> 市営プールが今後、修繕等でお金がかかってくるという説明があった。少々料金が上がったとしても、夏にはプールを利用するので、プールの運営を民間に渡すことも検討してはどうか。</p>	<p>どうしても行政がやるべきだというものではないので、民間による運営方法についても研究していく。</p>
<p><プールの存続について> 合併後、プールは東予地区と西条地区において重複し、財政的に厳しいということだが、ぜひ残してほしい。 西条地区のプールには、新居浜から来ている子どもが多い。「水がきれい」、「スパイラルスライダーがあるのが良い」と聞いた。他にはない良いプールである。</p>	<p>小学校における夏休み期間中のプール開放は、異常気象による高温や監視当番の関係で運営が厳しくなっていると聞いた。 そんな中、東予と西条の2つプールを維持していくに越したことはないが、施設の老朽化が進んでおり、限られた財源の中で、大規模な改修を実施することは難しく、休止するという厳しい判断も必要になってくる。 一方で、松山市の旧中島町では海上アスレチックを整備し、有料ながら(1,500円/50分)多くの方が来場していると聞く。このような事例を研究し、なんとか工夫できないか検討していきたい。</p>
<p><施設の命名権(ネーミングライツ)について> 西条市でもネーミングライツをしてはどうか。西条に縁のある企業から募り、収益を上げて運営していく方法もあるかと思う。</p>	<p>西条市の施設でネーミングライツを実施するのはなかなか難しいと思うが、稼ぐという発想を持って対応していきたい。 今では職員一丸になって税金にプラスになるような取り組みを頑張っており、例えば、ふるさと納税は年々増加してきている。</p>
<p><団体・集会等の集約について> 今年度は、コロナの影響により、各種会合が開けなかった。 これを一つのきっかけとして、施設の複合化と同様、会や組織の見直しを進めてはどうかと思う。</p>	<p>人口は減少しているのに事務量は増えている。相談できる世話役のような人が少なく、一人あたりの負担は増えていると感じる。 こうした実態を受け、各種事業の精査を行い、スリムな行政運営に向けて見直しを進めていく。皆さんに相談しながら、今のまま残すもの、統合によって合理化するもの、やめるものに整理していきたい。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨
<p><高齢者への情報発信について> 高齢者が知っておいたら良い資料があれば、高齢者の皆にぜひ知ってくださいと周知できるので、老人会へ提供していただきたい。</p>	<p>承知した。他にも高齢者向けに「脳いきいきチェック」といった事業も始めているので、これらも含めてしっかり情報発信に努めたい。 【会終了後にチラシを提供済】</p>
<p><コロナ 感染者の情報について> 社会福祉協議会で民生委員が独居老人等への訪問をしている。愛媛県では、コロナ感染者の地域を「愛媛県東予」との発表をしている。今治で誹謗中傷の事件があったからだと思うが、民生委員への注意喚起のためにも、せめて西条市かそうでないか教えていただきたい。</p>	<p>地域不詳のところは、市においても県からの情報提供を受けることができていないので、それ以上の発表はできない。感染源の特定等のため、県（保健所）において、当事者からの情報収集を進め、関係者の調査、報道発表といった対応をするというルールのもとで動いているので、西条市ですべて把握し発表することについてはご容赦いただきたい。</p>
<p>まとめ</p>	<p><市長> 「チャレンジ」という言葉をいただいたが、行政もしっかりしていかなければならない。厳しい課題が前にあるが、乗り越えていく力もチャレンジだと思う。皆さんの声を聴きながら、丁寧に進めていきたいので、引き続きよろしく願い申し上げます。</p>

<当日の様子>

